

Ⅲ 安心して暮らせる「生活」づくり

※〈 〉内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

1 高齢者福祉施策

(1) 介護サービス事業(介護保険事業)

〈113・307 ページ〉

○ 各種事業の利用状況(利用延人数)

事業名	平成17年度	平成18年度
特別養護老人ホーム事業	30,716人	30,322人
短期入所事業	4,214人	4,130人
デイサービス事業(富士見園)	5,278人	5,367人
デイサービス事業(潮見園)	9,215人	9,559人
訪問入浴事業	44人	56人
介護予防支援事業 ※新規	—	1,494人

(2) 介護予防対策の充実

〈291 ページ〉

○ 介護予防特定高齢者施策 **※新規**

事業内容	区分	平成18年度
運動器機能向上事業	実施回数	18回
	受講者数	54人
栄養改善事業	実施回数	11回
	受講者数	12人
口腔機能向上事業	実施回数	7回
	受講者数	13人
訪問型介護予防事業	対象者	2人
特定高齢者把握事業	基本チェック実施数	652人
	決定者数	15人

○ 介護予防一般高齢者施策 **※新規**

主要内容	区分	平成18年度
講演会など ◆認知症を考える市民の集い ◆いきいき栄養教室、高齢者健康教育事業	実施回数	47回
	受講延人数	2,054人

主 要 内 容	区 分	平成 18 年度
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	77 回
	参加延人数	902 人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	127 人

(3) 包括的支援事業などの実施

<293 ページ>

○ 地域包括支援センターの設置 **※新規**

- ・ 総合相談支援事業、地域ケア支援事業、権利擁護事業などを行い、高齢者を包括的に支援するため、平成 18 年 4 月に地域包括支援センターを新設した。

また相談支援業務の一部は、4ヶ所の在宅介護支援センターに委託して実施した。

事 業 名(内 容)	区 分	平成 18 年度
◆総合相談事業	相談延人数	5,449 人 (在宅介護支援センター委託分 4,186 人含む)
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議、部会の実施)	実施回数	18 回
◆権利擁護事業 (高齢者虐待、認知症など)	相談延件数	87 回
◆介護予防ケアマネジメント事業 (特定高齢者の介護予防プラン)	作成者数	11 人

※ 参 考

○ 宗谷北部介護認定審査会の開催

- ・ 開催回数 53 回
- ・ 稚内市分認定件数 1,614 件(実人数 1,262 人)

○ 認定調査件数 1,648 件(市直営調査 824 件、委託調査 824 件)

(4) 高齢者サービス事業

<109・113 ページ>

○ 各種事業の利用状況

事 業 名(内 容)	区 分	平成 17 年度	平成 18 年度
◆居宅介護(ホームヘルプ)事業 (介護認定で自立の判定を受けた方で一定の基準を満たしている場合、希望により週 2 回の生活支援)	利用延人数	55 人	68 人
	利用延回数	288 回	293 回

事業名(内容)	区分	平成17年度	平成18年度
◆デイサービス事業 (介護認定で自立の判定を受けた方で一定の基準を満たしている場合、希望により2週1回の通所介護支援)	利用延人数	42人	42人
	利用延回数	75回	79回
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	利用実人数	469人	313人
	利用延食数	6,476食	4,292食
◆外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	127人	182人
	利用延回数	1,651回	1,853回
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	79人	57人
	支給延件数	816件	800件
◆緊急通報装置運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設置台数	100台	88台
◆簡易型緊急通報装置運営事業 (65歳以上の一人暮らしの方の高齢者宅に簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設置台数	170台	183台
◆訪問理美容サービス事業 (障害などのため理美容院に出向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	利用延人数	7人	5人
◆訪問歯科診査事業 (歯科医院に出向くことができない状態にある方の居宅において、歯科医師が訪問し、治療を行うための診査実施)	利用延人数	3人	1人
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	41人	33人

(5) 高齢者いきがい対策事業

<111 ページ>

○ 各種事業の利用状況

事業名	区分	平成17年度	平成18年度
入浴支援事業	対象者数	8,760人	8,984人
	利用延人数	28,807人	32,682人
高齢者社会参加活動事業			
高齢者バス乗車支援事業	対象者数	6,087人	6,257人
抜海・勇知地区 JR 乗車支援事業	対象者数	102人	97人

事業名	区分	平成17年度	平成18年度
老人クラブ育成事業	クラブ数	47 ｸﾗﾌﾞ	45 ｸﾗﾌﾞ
	会員数	2,295 人	2,175 人
長寿ふれあい交流事業	助成町内会	70 町内	70 町内
	助成対象者数	6,319 人	6,506 人

(6) 高齢者福祉施設整備事業

<113 ページ>

- 地域介護・福祉空間整備等交付金 **※新規**
 - ・ 事業主体 社会福祉法人稚内木馬館
 - ・ 事業内容 認知症対応型共同生活介護事業所の施設整備に対する助成

2 心身障害者(児)・児童福祉施策

(1)障害者自立支援法による福祉施策の推進

<109 ページ>

- 障害者介護等給付事業 **※新規**
 - ・ これまで支援費として給付されていた障害者介護等給付事業、身体障害者施設訓練等支援事業、知的障害者施設訓練等支援事業の各事業が、平成18年4月からは障害者自立支援法の一部施行、平成18年10月の全面施行により本事業へと移行した。
- 障害者相談支援事業(平成18年10月～) **※新規**
 - ・ 必要なサービスのあっせん、調整、生活全般の相談など、障害のある方やその家族への相談支援機能の強化するため、新たに市内の指定相談支援事業所3ヶ所に委託した。
- 障害者地域活動支援事業(平成18年10月～) **※新規**
 - ・ 障害者地域活動支援センターを新設し、日常生活支援、日中活動支援などを通じて、障害のある方の社会参加、生きがいづくりや交流の場の拡大を図った。
- 障害者自立支援医療費扶助事業(利用人数98人)
 - ・ 障害のある方の日常生活能力や職業能力の回復を目指し、障害の除去あるいは障害程度の軽減を目的として給付。
- 身体障害者補装具給付事業、障害児補装具給付事業(利用件数389件)
 - ・ 身体に障害のある方(児童)に対して、車いすなどの給付及び修理。
- 身体障害者日常生活用具給付事業(利用件数255件)
 - ・ 在宅で重度の障害のある方に歩行支援用具、電気式たん吸引機などの給付。
- 福祉灯油支給事業(受給世帯数261世帯)
 - ・ 低所得の高齢者、障害のある方、母子世帯に対して灯油の購入費を一部助成。
- 災害遺児手当(対象者 小学生1人、中学生3人)

(2)児童福祉対策

〈115・117・119・121・189 ページ〉

○ 児童手当給付事業

- ・ 家庭における生活の安定を図るため、小学校修了前の児童を養育する者に支給する。

区 分	平成 17 年度		平成 18 年度	
	3 歳未満	小学校第 3 学年 修了前特例給付	3 歳未満	小学校修了前 特例給付
被用者(延べ人数)	6,306 人	15,234 人	6,663 人	20,538 人
非被用者(延べ人数)	2,001 人	5,313 人	2,147 人	7,593 人
特例給付(延べ人数)	643 人		160 人	
合 計(延べ人数)	8,950 人	20,547 人	8,970 人	28,131 人

※ 制度改正により平成 18 年 4 月からは、支給対象学年が小学校修了前までに変更。

○ 児童扶養手当給付事業

- ・ 父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭生活の安定と自立促進のために支給する。

区 分	平成 17 年度	平成 18 年度
全部支給者(延べ人数)	2,900 人	3,157 人
一部停止者(延べ人数)	2,158 人	2,041 人
2 子加算(延べ人数)	2,128 人	2,175 人
3 子以降加算(延べ人数)	548 人	555 人
合 計(延 べ 人 数)	7,734 人	7,928 人

○ 母子自立支援事業

- ・ 母子自立支援員(1 人)を配置し、母子家庭の自立相談に当たる。

○ 地域子育て支援センター事業

事 業 内 容	区 分	平成 17 年度	平成 18 年度
子育て相談	相談延件数	8 件	6 件
	相談延人数	8 人	6 人
子育てサークルなどの育成、支援	サークル数	2 団体	2 団体
子育て支援室利用者数	利用延人数	2,077 人	3,020 人

○ ファミリーサポートセンター事業

- ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織。

区 分	平成 17 年度	平成 18 年度
お願い会員(依頼会員)	144 人	193 人
まかせて会員(提供会員)	52 人	58 人

区 分	平成 17 年度	平成 18 年度
両 方 会 員	29 人	34 人
合 計	225 人	285 人

○ つどいの広場事業

- ・ 乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、子育てへの不安感や負担感の緩和をはかる。

年 度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳以上児	合 計	保護者数
平成 17 年度	558 人	1,012 人	430 人	429 人	2,429 人	2,205 人
平成 18 年度	796 人	1,649 人	1,219 人	569 人	4,233 人	3,739 人

○ 障害児保育特別対策事業

- ・ 港保育所 対象児童 5 人

○ 2 歳児受入れ保育事業

- ・ 白樺保育所 5 人(定員枠外受入)

○ 保育所運営事業

[平成 18 年度 園児数]

(単位:人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計	定 員
白樺保育所	7	13	17	19	24	24	104	100
港 保 育 所	6	13	14	23	19	26	101	100
北 保 育 所	5	10	12	8	5	15	55	100
(公立保育所 計)	18	36	43	50	48	65	260	300
富岡保育園	7	13	13	13	11	11	68	60
(市内保育所 計)	25	49	56	63	59	76	328	360
声間保育所		3	1	3	8	11	26	80
沼川保育所			1	4	3	4	12	50
勇知保育所			3	1	4	4	12	30
恵北保育所		2	3	4	4	1	14	30
宗谷保育所				14	7	12	33	60
(へき地保育所 計)	0	5	8	26	26	32	97	250
合 計	25	54	64	89	85	108	425	610

○ 保育所保護者負担金助成事業 **※新規**

- ・ 少子化対策のうち、子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、保育料の一部を助成。(当該保育児童に 18 歳未満の兄弟姉妹がいる場合は第 2 子または第 3 子として取扱う。ただし 6 歳未満児のみの家庭に対しては、2 人目の保育料を 1/2 から 1/4 に変更する。)
- ・ 助成児童数 延べ 182 人(1/2 助成延べ 94 人、1/10 助成延べ 36 人、1/4 助成延べ 52 人)

○ 私立幼稚園保育所建設事業費補助事業 ※新規

- ・ 幼保一元化を推進するために、保育業務に参入する私立幼稚園に対して、児童福祉施設最低基準を満たすために必要な施設整備経費の一部を助成。

○ 学童保育所運営事業

[利用状況]

(単位:人)

	1年生	2年生	3年生	合計	定員
中央学童保育所	18	7	3	28	35
緑学童保育所	36	22	12	70	60
富岡学童保育所	21	14	7	42	35
東学童保育所	15	10	6	31	25
合計	90	53	28	171	155

○ 児童館運営事業

- ・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況]

(単位:人)

	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	合計	クラブ	パソコン
白樺児童館	109	7,094	796	1,105	309	9,413	405	937
東児童館	96	5,765	1,092	342	2,507	9,802	3	3,490
富岡児童センター	2,089	9,968	3,937	426	5,218	21,638	10,549	1,756
港ふれあいセンター	1,026	3,106	666	37	1,599	6,434	2,077	846
中央児童館	44	7,551	739	2	32	8,368	0	3,000
富士見児童会館	19	555	242	4	651	1,471	651	240
南地区プレーパーク	14	6,309	4	0	0	6,327	0	0
対象別合計	3,397	40,348	7,476	1,916	10,316	63,453	13,685	10,269

3 保健医療の充実

(1)成人保健対策の充実

<123・125 ページ>

○ 保健事業

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
健康教育	実施回数	124回	56回
	受講者数	5,243人	2,409人
個別健康教育	実施人数	74人	13人
健康相談	実施回数	255回	104回
	実施人数	2,146人	573人

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
訪問指導	実施人数	444人	77人
健康手帳の交付	交付者数	490人	541人

○ 各種検診事業

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
胃がん検診	受診者数	1,318人	1,306人
子宮がん検診	受診者数	1,452人	657人
乳がん検診	受診者数	480人	546人
肺がん検診	受診者数	2,242人	2,115人
大腸がん検診	受診者数	1,350人	1,338人
基本健康診査	受診者数	1,748人	1,683人
骨粗鬆症検診	受診者数	700人	679人
前立腺がん検診	受診者数	652人	669人

(2)母子保健対策の充実

<123 ページ>

○ 各種診査等の実施状況

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度	
乳幼児健康診査など	3～4ヶ月児 健康診査	健診回数	12回	12回
		受診者数	354人	341人
	7～8ヶ月児 健康相談	相談回数	24回	15回
		受診者数	346人	315人
	1歳児 健康相談	相談回数	24回	15回
		受診者数	336人	337人
	1歳6ヶ月児 健康診査	健診回数	16回	15回
		受診者数	361人	347人
	3歳児 健康診査	健診回数	15回	15回
		受診者数	351人	317人
	股関節脱臼検診	検診回数	12回	12回
		受診者数	372人	338人
マタニティ教室	実施回数	28回	28回	
	受講者数	329人	370人	
育児教室	実施回数	6回	6回	
	受講者数	113人	86人	

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
こどものための講演会	実施回数	1回	1回
	受講者数	32人	31人
妊婦一般健康診査	受診者数	653人	659人
母子訪問	実施者数	212人	282人
ママと子のクッキング教室	実施回数	2回	3回
	受講者数	44人	96人
フッ素塗布事業	実施回数	55回	52回
	受診者数	1,635人	1,390人
サホライド塗布事業	実施回数	55回	52回
	受診者数	220人	125人

○ 特定不妊治療費助成事業(利用人数 11人) **※新規**

- ・ 特定不妊治療を行っている夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図るため特定不妊治療費用の一部を助成。

(3)感染症予防対策の充実

<125ページ>

○ 各種予防対策の実施状況

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
予 防 接 種			
三 種 混 合	接種者数	1,435人	1,263人
ポリオ(小児マヒ)	接種者数	683人	676人
風 疹	接種者数	535人	29人
麻 疹	接種者数	397人	1人
麻疹・風疹混合(MR)ワクチン ※新規	接種者数	—	595人
ジフテリア・破傷風	接種者数	332人	323人
結核予防対策			
結核検診(X線)	接種者数	881人	560人
BCG予防接種	接種者数	388人	328人
エキノкокクス症血液検査	受診者数	263人	110人
高齢者等インフルエンザ予防接種	接種者数	4,056人	4,313人

(4)精神保健対策の充実

<111ページ>

○ 団体などへの各種支援

- ・ 精神障害回復者クラブ運営費補助金

(精神障害回復者クラブはまなす会/稚内市精神障害者回復者クラブリトルウェイブ)

- ・ 精神障害者地域社会参加・ふれあい交流事業補助金
(稚内市精神障害者家族会・回復者クラブ合同実行委員会)
- ・ 稚内第二木馬館新築資金借入金償還補助金(社会福祉法人稚内木馬館)
- ・ 稚内市精神障害者家族会補助金(稚内市精神障害者家族会)

(5)健康管理システムの充実

<125・127 ページ>

- 健康管理データバンク事業
 - ・ 各種健康事業における個人データの収集整備
 - ・ 健康管理台帳の整備
 - ・ 住民に対する検診結果通知

(6)健康づくり事業

<113・127 ページ>

- 健康づくり講演会の開催 195 人受講
- 8020 運動を推進し、歯科対策の基盤整備を実施
- 健康増進センター(温泉「童夢」)管理運営事業
 - ・ 平成 18 年 4 月 1 日 指定管理者制度へ移行
 - ・ 平成 18 年 7 月 16 日(開館 3,193 日目) 入館者 250 万人達成
 - ・ 平成 18 年 11 月 14 日(開館 3,309 日目) 入館者 260 万人達成
 - ・ 平成 19 年 3 月 27 日(開館 3,438 日目) 入館者 270 万人達成

[利用状況]

	平成 17 年度	平成 18 年度	開館からの累計
営業日数	351 日	351 日	3,442 日
入館者数	262,392 人	284,514 人	2,703,842 人
うち観光客	19,510 人	16,690 人	331,127 人
うち外国人	3,579 人	3,075 人	21,828 人
月平均利用者数	21,868 人	23,710 人	23,110 人
日平均利用者数	748 人	811 人	786 人

(7)地域医療の充実

<91・129 ページ>

- 開業医誘致推進事業 **※新規**
 - ・ 30 歳～45 歳までの札幌医大・旭川医大・北大医学部を卒業した道内勤務医 2,401 名に対し、稚内市内での開業支援策の案内パンフレットを送付し、開業への誘致を図った。
- 市立稚内病院の整備
 - ・ 本院棟の給排水管、給湯管の改修整備
 - ・ オーダリングシステムの導入(平成 18 年 7 月 3 日より稼動)

- ・ 臨床研修病院(管理型)の認定
 - ・ 病床管理の一元化(専門職員の配置)
 - ・ 診療情報管理系の設置
 - ・ MEセンターの開設
 - ・ 超音波白内障手術装置などの医療機器整備
 - ・ 経営改善プラン(平成 19 年度～平成 23 年度)の策定
 - ・ 平成 19 年度からの地方公営企業法全部適用に向けた取り組み
- 稚内こまどり病院の運営
- ・ 療養型病床数 45 床
 - ・ 病床利用率 90.0%(1 日平均 41 人)

4 環境の保全

(1)廃棄物の処理

<129・131 ページ>

- 一般廃棄物収集事業
- 分別収集事業
- 一般廃棄物処分場管理運営事業
- 産業廃棄物処分場管理運営事業
- リサイクルセンター管理運営事業

[収集(処理)状況]

	平成 17 年度	平成 18 年度
一般廃棄物	22,321 トン	19,771 トン
収 集 分	10,963 トン	10,866 トン
処分場直接搬入分	11,358 トン	8,905 トン
産業廃棄物	10,153 トン	7,761 トン
資源物(古紙、缶、瓶など)	2,842 トン	2,822 トン
処理合計	35,316 トン	30,354 トン

- 汚泥投入共同処理(MICS)事業
 - ・ 共同処理負担金
 - し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で共同処理を行う。
 - (処理量 4,043 件 1,926kl/年、浄化槽汚泥処理量 1,541 件 3,708kl/年)

(2) 廃棄物処分場の整備

<129 ページ>

- 一般廃棄物処分場汚水処理施設整備工事(既存処理場の整備)
 - ・ 回転円盤槽整備(プランマーブロック取替え)
- 廃棄物最終処分場建設事業
 - 予定工期 平成 19 年 9 月末(工事着手 平成 17 年 10 月 27 日)
 - 事業概要 管理棟RC造地上 1 階地下 2 階 1,316 m²、ストックヤード 780 m²
埋立容量 189,000 m³(準好気性埋立構造)、埋立部分 6,750 m²×4 区画
遮水 2 重シート+事故修復マット、漏水探知システム、浸出水処理 30 m³/日
 - 供用期間 平成 19 年 10 月から平成 29 年 9 月まで
- 処分場搬入導路整備事業
 - ・ 路盤改良 L=490.0m(17 国 18 実施 181.0m、18 国 18 実施 309.0m)
 - ・ 舗装工 L=243.0m(車道 5.5m、両路肩 1.25m)
- 処分場建設に係る上水道管布設事業
 - ・ 配水管(φ 50mm) 布設延長 372.1m

(3) ごみの減量化・再資源化

<131 ページ>

- 分別収集事業
 - ・ 古衣類の回収ボックスを市内 4 箇所に設置し、分別回収を行った。
 - リサイクル率 12.5%
 - 資源化量 2,821.2t
 - (内訳 古紙 2,008.4t、ビン類 393.9t、カン類 217.4t、ペットボトル 200.1t、古衣類 1.4t)
- 循環型社会形成推進地域計画の策定 **※新規**
 - ・ 循環型社会の実現を目指し、廃棄物の減量化を含め目標数値を定め、各種施策に取り組む。
 - 計画期間 平成 19 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
 - 廃棄物減量目標数値 平成 31 年度 30%削減(平成 15 年度対比)
 - 代表的な各種施策
 - その他プラ容器包装(白色トレイ含む)資源化施設整備
 - その他プラ容器包装(白色トレイ含む)分別ごみ収集車整備
 - エネルギー回収推進施設(高効率原燃料回収施設)整備
 - 各施設整備計画支援事業(測量等調査・施設基本設計)

(4) 公衆浴場対策

<127 ページ>

- 公衆浴場確保対策事業[補助金] 市内 4 浴場

(5)火葬場の整備

<127 ページ>

- 稚内聖苑整備事業
 - ・ 3号炉台車取替及びポンプユニット取替
- 火葬炉使用状況 425 体

(6)公害防止対策

<129 ページ>

- 自動車の道路交通騒音測定を3ヶ所で行った。

5 除排雪体制の整備

(1)融雪設備の整備

<153 ページ>

- 融雪設備設置助成事業 助成総数 41 件
 - ・ 融雪機(槽) 9 件
 - ・ ロードヒーティング 32 件

6 市営住宅の整備

(1)市営住宅の維持管理

<155 ページ>

- 市営住宅改修事業
 - ・ 末広団地 3 棟 64 戸外物置改修
 - ・ 末広4丁目 入居者用駐車場(42 台分)の整備
- 市営住宅の個別改善
 - ・ 老朽化した市営住宅入居者の住環境改善のため、住替えを促進させるとともに、入居待機者対策としては、はまなす団地の各種改善を行った。
 - ※ はまなす団地1棟5戸の主な改善内容
 - 居住性向上(浴室設置、窓のアルミサッシ化、内窓のプラスチック化)
 - 高齢化対応(手すり及び外部緊急通報の設置、段差解消、スイッチ類の操作向上)
 - 安全性向上(住宅用火災報知器の設置、台所壁の不燃化)
 - 住環境向上(下水道への切替え)
 - ・ 市営住宅入居者の安全性向上のため、富士見団地5棟102戸及び緑ヶ丘団地5棟92戸に対し、寝室に住宅用火災報知器を設置した。

(2) まちなか居住推進計画などの策定

<155 ページ>

- 平成 17 年度の住宅マスタープランに引き続き、市街地拡大の抑制と中心市街地活性化支援のための「まちなか居住」の推進に係る計画であるまちなか居住推進計画等の策定を行った。

7 上水道の整備

(1) 浄水施設の整備

<129 ページ>

- ろ過池整備事業

(2) 配給水施設の整備

<129 ページ>

- 配給水施設整備事業

- ・ 配水管などの改良

市道関連 L=438m

水道単独 L=5,738m

8 下水道の整備

(1) 下水道施設の整備

<257 ページ>

- 公共下水道事業

- ・ 管渠布設 延長 1,829m(総延長 164,103m)

- ・ 整備面積 7.71ha(総面積 895.68ha)

- 特定環境保全公共下水道事業

- ・ 管渠布設 延長 296m(総延長 11,867m) ※声問地区

- ・ 整備面積 5.30ha(総面積 97.26ha)

※ 普及率 90.7%

(2) 下水道水洗化普及対策

<255 ページ>

- 下水道水洗化普及事業

- ・ 水洗便所等改造資金貸付 平成 18 年度貸付実績 19 件 9,814,000 円

※ 水洗化率 89.5%

9 交通輸送体系の整備

(1)生活路線の確保

<91・93・99 ページ>

- 生活交通路線維持費補助(市内バス)事業〔補助金〕(宗谷バス株)
- 生活交通路線維持費補助(天北線バス)事業〔補助金〕(宗谷バス株)
- 天北線バス通学定期運賃助成事業〔補助金〕(宗谷バス株)
- 地域生活路線バス運行維持事業〔負担金〕(猿払村)

10 安全なまちづくりの推進

(1)防災対策

<85・87 ページ>

- 災害対策備蓄事業
 - ・ 備蓄食糧 300 食
 - ・ マット 20 枚
 - ・ 携帯ラジオ 20 台
 - ・ 懐中電灯 10 本
 - ・ 投光器セット 1 組
 - ・ 発電機 1 台
 - ・ ガソリン携行缶 1 個
- 自主防災組織育成事業
 - ・ 地域安心安全ステーション整備モデル事業の実施
潮見1町内自主防災会(自主防災資機材購入助成)
 - ・ 自主防災訓練の支援
稚内市「災害図上訓練DIG」、稚内市民防災講座を開催し、自主防災組織 3 組織が参加
- 防災啓発事業
 - ・ 稚内市「災害図上訓練DIG」、稚内市民防災講座、成人式会場において、防災啓発用品(家具転倒防止板、開き戸ストッパー、耐震ガード、ガラス飛散防止フィルム、タンスガード、ゆれ用心、ツッパリ棒、避難 21 点セット、とびらロック、OA機器用耐震固定バンド)の展示。

(2)交通安全の普及啓発

<93 ページ>

- 交通安全推進事業
 - ・ 交通安全啓発資材の購入、夜光反射材 ほか

[事業実績]

事業内容	区分	平成17年度	平成18年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	38回	56回
	参加人数	3,500人	3,700人
交通安全大会	開催回数	2回	2回
	参加人数	500人	500人

11 消防・救急体制の整備

(1) 消防施設などの整備

<163 ページ>

- 消防水利整備事業
 - ・ 消火栓 新設5基、取替6基、移設2基
- 通信施設直流電源装置バッテリー交換整備 1式

(2) 救急救助体制の整備

<163 ページ>

- 救急救命士気管挿管資格修得研修 1人